野田内閣府特命担当大臣（地方創生） 記者会見要旨

日時：令和4年3月10日（木） 17:58 ～ 18:02

場所：首相官邸ロビー

（冒頭発言）

本日の諮問会議では、スーパーシティとして、大阪府・大阪市とつくば市の指定が決定されました。スーパーシティは、地域のデジタル化と規制改革を行うことにより、DXを進め幅広い分野で未来社会の先行的な実現を目指すものです。

また、デジタル田園健康特区として、吉備中央町・茅野市・加賀市の指定が決定されました。この特区は、デジタル技術の活用によって、人口減少、少子高齢化など、特に地方部で問題になっている課題に焦点を当て、地域の課題解決の先駆的モデルを目指すものです。

総理からもご発言がありましたけれども、スーパーシティ、デジタル田園健康特区とも、デジタルを通じて、地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、持続可能な経済社会を実現するという、岸田内閣が進めるデジタル田園都市国家構想を先導することが期待されるものです。

この他、スーパーシティ、デジタル田園健康特区に関する事項を中心に、19項目の「追加の規制改革事項」について検討を進めていくことを決定しました。「区域計画の認定」として、5区域・16事業を了承、国家戦略特別区域基本方針について、「令和4年度税制改正の大綱」を踏まえ、所要の改正を行うことを了承いただきました。

有識者議員からは、スーパーシティ等の指定、規制改革の全国展開などについて、御提言をいただきました。

総理の発言につきましては、先ほど、皆様にお聞きいただいたとおりで、私からの報告は以上です。

（質疑応答）

問： 今日スタートになると思うのですがけれども、今後の展開というのはどのように進められるのでしょうか。

答： まず、有識者の、これまでずっとこの会議で汗をかいていただいた皆さんから、大変厳しい、ありがたい、そして、建設的な御提言をいただきました。今日からが始まりだと、総理もそういう思いで受け止めたと思います。岸田政権になってデジタルという言葉がどんどん広がっていく中で、やはり社会実装を早くお見せしなければならないと

ということで、まず、まさにスタートアップとして、指定された市が先導して行く形になればいいなと思っています。

問： 当初、スーパーシティは5都市ぐらいの選定になるというような話もあったのですが、今後また追加するという予定はあるのでしょうか。

答： 少なくとも私が大臣になってからはその話はなく、とにかく規制改革とデジタル、DXになっていくかというずっとこう、基準を定めてですね、やり直しをしてからまたもう一回仕切り直しをやっていただいていたのですが、そういう熟度が到達したものからということで、特にそういうことではなかったと思います。

(以上)